

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和 6 年度 第 5 回 川越市 協働事業 審査委員会
開 催 日 時	令和 7 年 1 月 1 7 日 (金) 午後 2 時 開会 ・ 午後 4 時 閉会
開 催 場 所	川越市役所 第 5 委員会室
議 長 (会長) 氏 名	櫻井晶夫副委員長
出席者 (委員) 氏名 (人数)	櫻井晶夫副委員長 真下英二委員      栃原綾子委員      野本吉憲委員 藤井美登利委員   柳内邦章委員      山下利一委員      (7名)
欠席者 (委員) 氏名 (人数)	遠藤克弥委員長   佐藤保雄委員   米原民子委員      (3名)
事 務 局 職 員 職 氏 名	地域づくり推進課 副主幹 川田雅美 主任 森裕美
傍 聴 者 人 数	なし
会 議 次 第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 令和 6 年度事業の実施状況について (2) 令和 6 年度協働事業の評価方法について (3) 令和 6 年度協働事業報告会の開催について (4) 令和 7 年度事業の取り組みについて (5) その他 4 閉会
配 付 資 料	別 紙 . . . . . 次第 資料 1 . . . . . 令和 6 年度事業の実施状況について 資料 2 - 1 . . . . . 令和 6 年度協働事業の評価について 資料 2 - 2 . . . . . 令和 6 年度協働事業の第三者評価について 資料 3 . . . . . 令和 6 年度協働事業報告会 実施要領 資料 4 - 1 . . . . . 令和 7 年度協働委託事業の実施予定について 資料 4 - 2 . . . . . 令和 7 年度提案型協働事業の取扱いについて ○ 令和 6 年度川越市協働委託応募要項、提案型協働事業補助金募集要項(案) ○ 市民活動スタートアップ講座市民活動団体交流会、(チラシ)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	開 会 1 4 時 0 0 分
	<b>1 開 会</b>
	<b>2 副 委 員 長 あ い さ つ</b>
副 委 員 長	会 議 の 成 立 市 協 働 事 業 審 査 委 員 会 条 例 第 5 条 第 2 項
	会 議 の 傍 聴 ⇒ 可 原 則 公 開
	<b>3 - 1 令 和 6 年 度 事 業 の 実 施 状 況 に つ い て</b>
事 務 局	資 料 1 の 説 明 協 働 委 託 事 業 2 件 、 提 案 型 協 働 事 業 1 1 件 の 現 在 の 事 業 の 実 施 状 況 を 説 明
副 委 員 長	協 働 委 託 事 業 に つ い て 、 両 事 業 と も 好 評 で あ る 。 子 育 て 情 報 誌 の 発 行 時 期 が 6 月 と な っ て い る が 、 1 カ 月 く ら い 早 く で き る と 川 越 に 移 り 住 ん で き た 子 ど も が い る 方 に 対 し て 丁 寧 な 対 応 が で き る と 感 じ る 。
副 委 員 長	提 案 型 協 働 事 業 に つ い て 、 今 年 度 3 回 目 の 事 業 が 多 い 。 「 川 越 的 場 八 景 蟹 ヶ 淵 再 生 事 業 」 も よ く や っ て い る 。 「 新 宿 町 五 丁 目 地 域 デ ジ タ ル 化 」 の シ ニ ア e ス ポ ー ツ 体 験 は 3 0 分 ご と に や る 内 容 が 区 切 ら れ て い て 、 高 齢 者 に と っ て も 飽 き な い 時 間 配 分 で よ い 。
委 員	「 川 越 リ ー ジ ョ ナ ル ウ ィ ン ド オ ー ケ ス ト ラ 特 別 演 奏 会 」 は 初 年 度 で プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン の 際 に 危 惧 す る 点 も あ っ た が 、 参 加 者 も 集 ま り 、 し っ か り し た チ ラ シ も 作 成 さ れ て い る 。 演 奏 会 本 番 も 見 に 行 き た い と 思 う 。 「 川 越 が 生 ん だ 漫 画 家 ・ 花 村 え い 子 の

副委員長	<p>推しガール総選挙」は広報室が所管課で期待している。12月15日で事業終了になっているが、今後、広報室がどのように川越市民に浸透させていくかを聞きたい。</p> <p>広報かわごえで総選挙の結果発表を見た。今後これをどうやって使っていくかが重要になる。今後の展開に期待したい。いろんなやり方があるので広く広報できるように団体にはお願いしたい。</p>
副委員長	<p>「川越にプレーパークをつくろう事業」で受講者が10名とあるが、これはどの程度なのか。</p>
委員	<p>視察に行ってきた。10名程度だったが、多様な人が受講していた印象。団体の会員も主体的にリードするのではなく、一員というイメージで、大きなプレーパークをつくろうという流れの中に入っていた。</p>
委員	<p>講座最終回の一般来場者119名はどのように集めたのか気になる。遊んだ人の感想などを聞いてみたい。</p>
委員	<p>プレーパークの参加者は未就学児か。</p>
事務局	<p>プレーパークによって様々だと思うので、確認しておく。</p>
副委員長	<p>こういった事業が広がると子どもを自由に育てられる環境づくりにつながると感じる。</p>
委員	<p>「ほしおさなえ作品の世界をめぐるスタンプラリー」でスタンプラリーをしてきたが、引き換えが400名となっている。元々の意図が川越を知ってもらおうということならもっともいい。元の意図を報告会の時に改めて確認したい。プレゼンテーションの時にスタンプラリーをするなら台紙も工夫して欲しいと伝えた。櫻井印刷が発行しているフリーペーパーにうまく合わせて作成している。大変だったのではないか。</p>
副委員長	<p>活版印刷のワークショップに参加した。印刷の作業はとても楽しませてもらった。昔の印刷物は活版が頼りなので大変だと感じた。ほしおさなえ先生の本も何冊が読んだが、言い方を変えれば川越案内的な話が多い。川越の街に相応しい小説の印象</p>

委員	<p>を受けた。スタンプラリーの景品もよくできていた。</p> <p>川越を紹介するのはアニメなどが多い。いま本を読む文化が減って、本屋が減っている。経産省も町の個人の書店を守るキャンペーンをしている。それを考えると2年目スタンプラリーに本屋さんを入れたらいいと思う。本を読む時間の方が街としていいと思う。川越の本屋に対しても市民に関心を持ってほしい。</p>
副委員長	<p>団体にポスターをどこに掲示しているか聞いたら本屋だと言われたので、紀伊国屋に行ったら、ほしおさなえ作品はなかった。再度発注をかけているとのことだった。そういった所も文化的意識の高まりがあれば商機があるのではないか。</p>
委員	<p>先程400名は少ないという話があったが、期間も短かった。街の中で見つけた時には期間が終わっていた。参加するチャンスがなかった人も多いと思う。</p>
委員	<p>あまり目立つところになかった。外部の人向けなら小江戸テラスなどに置くと効果的。</p>
副委員長	<p>川越を知ってもらう観点だと「仲町地域交流会活動事業」が作成したガイドブックは非常によくできている。</p>
委員	<p>簡潔で初めて見た人にも見やすくわかりやすくできている。どのように作成したのか聞きたい。</p>
副委員長	<p>仲町もほしおさなえも花村えい子もうまく融合させると川越の街の違う一面が見えてくると思う。</p>
事務局	<p><b>3-2 令和6年度協働事業の評価について</b></p> <p>資料2-1、資料2-2の説明</p>
副委員長	<p>前回の審査委員会で評価の集計方法について議題に上がったが、今年度についてはこの評価方法で実施していくことによいか。来年度からまた考えていく。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>

事務局	<p><b>3-3 令和6年度協働事業報告会の開催について</b></p> <p>資料3の説明</p>
副委員長 委員	<p>例年通りの実施内容ということでよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p><b>3-4 令和7年度事業の取り組みについて</b></p> <p>資料4-1の説明</p> <p>協働委託事業はこども政策課の子育て情報誌作成が実施。 環境政策課のかわごえエコツアーを来年度は実施しない。</p>
委員	<p>協働委託事業で実施団体からの要望で実施しないのは今までにない。担当課としてエコツアーの今後に対してどのような見解を持っているのか。考え方を整理して提示して欲しい。</p>
副委員長	<p>その通りだと思う。委託事業だからといって決まった団体がやるとは限らない。エコツアーは過去に違う団体が実施したこともある。こういった事業は継続してやって欲しい。決まった団体に委託することに疑問もあるので、そのあたりも考慮しながらやっていただきたい。</p>
委員	<p>公募するのが普通。団体がやめるのは自由。新たに公募すればいい。公募して公募団体がいなかったら考えればいい。</p>
副委員長	<p>税金を使ってやっている事業なので、使い方は市民から見られている。いい事業にはいい評価を、悪い事業には悪い評価をつける。公募という形が一番正しいと思う。</p>
副委員長	<p>「子育て情報誌作成」の予算要求額が今年度実施額の3倍以上になっている。広告収入で安くやっていたはず。正当な理由でこの金額なのであればいいが、そのあたりも聞いて欲しい。</p>
事務局	<p>昨年度も要求時点では30万を超える金額だった。見積もりについては団体が人件費等を計算して所管課に計上している。</p>
副委員長	<p>予算が要求通りつかなかった時の対応が重要になる。市も子どもが多くいるまちを目指したい、子育てに関する問題は産む</p>

事務局	<p>前からはじまっているが、なかなかやっけていけないのが実情。少しでもそこに手助けができればいい。</p> <p>4-2の説明</p> <p>提案型協働事業について今年度同様補助金上限額は20万円、補助率は2分の1で考えたい。</p> <p>令和7年度の委託事業、提案型協働事業の募集要項は3月の広報で公開予定。補助金のガイドラインに沿った見直しを行い、補助対象経費等をわかりやすく変更。交付決定の通知時期が変更になる見込み。</p>
副委員長 委員	<p>内容について説明のとおりでよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p><b>3-5 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動スタートアップ講座事業について <p>11月21日に公益財団法人いきいき埼玉と県の地域振興センターと共催で助成金についての講座を実施。</p> <p>川越市の提案型協働事業、埼玉県NPO基金、一般財団としてサイサン環境保全基金の助成金を紹介、事例発表し、その後相談会を実施。</p> </li> <li>・市民活動団体交流会について <p>12月18日に公益財団法人いきいき埼玉と県の3つの地域振興センターと共催で市民活動団体交流会を実施した。昨年度に引き続き2年目の実施。</p> </li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の日程について</li> </ul>
事務局	<p>第6回 協働事業報告会 2月10日(月)午前10時から ウエスタ川越1階 多目的ホールA~C</p>
委員	<p>第7回 継続事業審査 3月26日(水)午後2時から 市役所 第1委員会室</p>

<p>副委員長 事務局 副委員長 事務局 副委員長 事務局</p>	<p>スタートアップ講座の参加団体数はどれくらいなのか。 14団体、19名の参加。個人での参加もあった。 交流会の参加者はどれくらいか。 22名の参加。他に他市の行政職員の見学もあった。 交流会ではどのような話があったのか。 まず講演を聞きき、交流トークをグループ形式で講演の内容や団体の抱える困り事について話し合った。パネル交流では会場の側面に貼った団体紹介パネルを見ながら気になる団体と自由に話してもらったので、細かい話の内容はわからないが、大変盛り上がっていた。アンケートには団体立ち上げ前の方が「団体の運営方法などを聞き参考になった」という意見や「イベントのやり方などを話して自分の団体のヒントになった」という意見があった。</p>
<p>委員</p>	<p>事業報告会について、どのくらいの役職の人が参加するのか。協働審査委員会で職員研修しているのは県内でもあまりない事例と評価されている。職員のアンケートが知りたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>参加者は主事補から課長まで参加予定。財政部など協働とは直接関わりの少なそうな部に対しても呼びかけ、全ての部から参加する。人数が増えた分、アンケートの内容を踏まえさらに来年の職員研修に活かしていきたい。</p>
<p>副委員長</p>	<p>これは補助金という形で協働を実施しているが、少子高齢化で川越市の人口も世帯数も減ってきている。税収が上がってこない、これからは無償行為の協働、行政と地域との協働が多くなると想像している。そういった中で多くの職員に参加いただき、自分の身に振り返った時に行政経験にどう活かすかが必要だと思う。本当は参加した職員と意見交換ができればいい。</p>
<p>副委員長</p>	<p><b>5 閉 会</b> 副委員長あいさつ  閉会 16時00分</p>